



JAPANESE A1 – STANDARD LEVEL – PAPER 1
JAPONAIS A1 – NIVEAU MOYEN – ÉPREUVE 1
JAPONÉS A1 – NIVEL MEDIO – PRUEBA 1

Monday 14 May 2007 (morning)
Lundi 14 mai 2007 (matin)
Lunes 14 de mayo de 2007 (mañana)

1 hour 30 minutes / 1 heure 30 minutes / 1 hora 30 minutos

INSTRUCTIONS TO CANDIDATES

- Do not open this examination paper until instructed to do so.
- Write a commentary on one passage only. It is not compulsory for you to respond directly to the guiding questions provided. However, you may use them if you wish.

INSTRUCTIONS DESTINÉES AUX CANDIDATS

- N'ouvrez pas cette épreuve avant d'y être autorisé(e).
- Rédigez un commentaire sur un seul des passages. Le commentaire ne doit pas nécessairement répondre aux questions d'orientation fournies. Vous pouvez toutefois les utiliser si vous le désirez.

INSTRUCCIONES PARA LOS ALUMNOS

- No abra esta prueba hasta que se lo autoricen.
- Escriba un comentario sobre un solo fragmento. No es obligatorio responder directamente a las preguntas que se ofrecen a modo de guía. Sin embargo, puede usarlas si lo desea.

次の I (a) の文章と I (b) の詩のうち、どちらか一つ選んで解説しなさい。

I (a)

5 植物園の入り口まで、坂を下りて行けば、ほんの三、四分の距離だった。門を入って左側の人気のない池を見ながら歩いていると、鳴滝は不思議な視線を数ヶ所から感じた。近くには、腕を組んで歩いている夫婦や、中年の女性だけのお喋りグループや、ジョギングをしている太り加減の中年男性がちらほらいる。その

10 どの人の視線が気になるのか、初め鳴滝にはわからなかったのであった。それは向こうから来るブラウスとスカート姿の小さな娘から発信された気になる視線であった。逆光線なので、鳴滝にはそれが誰だか一瞬のうちにはよくわからなかったのである。近づいてから、鳴滝はそれがいつも雇い主の子供を抱えているメイドのスリだということがわかった。彼女はここ数日のうちに顔見知りにな

った鳴滝に、向こうから人なつつこく小さく手を振っていた。

「散歩に来たの？」

15 鳴滝は立ち止った。赤ん坊の顔はくるまれた布のかげで見えなかった。「いいえ、このステファンがオウムを見るのが好きだから、向こうの鳥小屋まで見せに連れて行つたんです」

「急いで帰らなきゃいけない？ ちょっとあそこの日陰のベンチで休んで行こうか？」

20 鳴滝の心には、この今にも死にそうに^ヤ瘦せた赤ん坊の秘密を知りたいという好奇心が疼いていた。

「いいですよ。ステファンも眠っているし。眠っている時が、この子の天国なんですから」

心地よいひんやりとした風が、大樹の下ベンチに坐った二人を吹いて通り過ぎた。

「この子は瘦せているね。どこか病気なの？」

25 「知らなかったんですか？ この子は、エイズなんです。奥さんに言わせるともう長くないとお医者から言われているんだそうです。いつ変化が来るかは私は知りません。でもエイズの子はもともと学校へ行くまでは生きていないのが多いそうです」

30 鳴滝はどこから話を続けていかわからなかった。むりに^{のぞ}覗き込むと、スリの腕の中の子供は、薄い毛布に包まれて骸骨のようだった。薄い唇を少し開けて、彼はひたすら眠っていた。

- 「そんな重い病人を、外へ出していいの？」
- ほんとうは、子供がエイズに罹^{かか}っているのなら、奥さんもエイズなの？と聞くべきだったのだが、鳴滝は心理的に動揺していた。普段はかなりずうずうしく聞きたいことを口にする性格なのだが、その時はかりはうまくいかなかった。
- 35 「だってこの子は、もうほとんど笑わないんですよ。いつも体中が痛いみたいに顔をしかめて泣いているの。それも声を立てずに泣くんです。一時だって幸福そうな顔したことがないんです。でも鳥を見る時だけ笑うから連れ出した方がいいんです。それにここまで来たら、少しくらい長生きするより、楽しいことをさせたいって、奥さんもご主人も言っていますから」
- 40 「ご主人夫婦も、患者？」
- 鳴滝は他家の秘密を聞きたがっているような疚^{やま}しさを感じて声をひそめた。
- 「いいえ、ご主人たちは二人共弁護士で、子供はないの。この子はもらい子です。道端に捨ててあったのを養子にしたんです。だからほんとうは年も名前もわからないのよ。ステファンというのは養子に来て戸籍を作った時の名前です」
- 45 幼児は深く眠っていた。おそらくほんの短い時間だけオウムを見て笑っただけで、彼は疲れ果ててしまったのだらう、と鳴滝は察した。

(曾野綾子 『小さな苦勞人』 二〇〇六年)

- 作者は鳴滝とスリとステファンを描くために語句や文体や表現や情景などどのような工夫をしていますか。また、それはどのような効果を与えていますか。
- 鳴滝の心情の変化はどのように描かれていますか。
- 作者は鳴滝やスリやステファンやご主人夫婦をどのような人物として描いていますか。
- 『小さな苦勞人』という題には、どのような意味があると思いますか。

1 (b)

地球は卵だ

地球は卵だ 朝

鶏小屋から

とり出して来た卵

まだあたたかい手の中の卵

5

夜空の

銀河の卵だ

地球は卵だ

手品師の口の中から ぽんと

飛び出して来た卵

10

むぎわら帽子をかぶって

駈けて行く卵

泣きべそかいて帰って来る卵

地球は卵だ ダリの卵

人類の行方を見ている卵

15

引き出しが開けられてしまった女の卵

スーツや下着やストッキングが投げ出され

戦車や大砲が押し込まれていく卵

狸や狐の卵だ

地球は卵だ

20

つるつるのかてかになってしまう卵

しわしわのぶらぶらになってしまう卵

あーあ とため息の出る卵

どうしてなの といわれても

そうになってしまう 卵

25

地球は卵だ

割れないようにしてほしい卵

落とさないようにしてほしい卵

- 30 やあー といつて草や樹が芽を出し
おーい といつて魚や鳥や虫たちが遊びに来る卵
水をくつつけた少年たちの卵だ

(星野元一 「地球は卵だ - 新潟県中越地震考」 二〇〇五年)

ダリ サルバドール・ダリ (一九〇四〜一九八九年) スペイン出身の画家。

- ― 「地球は卵だ」という題名によって、作者は何を表現しようとしていると思いますか。
 - ― この詩の中では、どのようなリズム・イメージ・比喩などが使われていますか。そして、それらによって、どのような効果が生じていますか。
 - ― 第五連目 (二五〜三〇行目) から読み取れる作者の心情は何だと思えますか。
-